

本日は、私たち新成人をお祝いしていただき、誠にありがとうございます。新成人を代表して、心より御礼申し上げます。成人になった喜びを感じるとともに、今後、私たちが担っていくべき責任の重大さも痛感しております。

令和2年は、自分は何をしたいのか、何ができるのか、新型コロナウイルス感染症の影響で時間に余裕ができた分、じっくりと向き合えた一年間でした。

私は、愛媛県の石鎚山というところで、限界集落での地方創生に関わっております。自然が豊かで、本当に素敵なところです。日本で数少ない丁寧な里山の暮らしの文化が残る場所となっています。ここの文化を途絶えさせたくないという気持ちで、今、私は尽力しています。

二十歳は節目の歳で、私たち新成人にはこの先、不安なことが多々あると思います。そして私自身、今も不安と希望で溢れております。自分の行動が正しいのか、意味があるのか等の不安を抱くことがあります。しかし、不安と戦いながら、目標達成するために、前に進もうとしています。二十歳ということで成人となりますが、まだまだ未熟者で至らない部分の方が多いことでしょう。失敗もたくさんするでしょう。それらを受け止め、私はこれからもやりたいことに挑戦していこうと思います。

最後に、この豊かな自然を残しつつも発展していく袖ヶ浦というまちで、成人の日を迎えられたことに、本当に深く感謝致します。皆様に支えられながら私たちはここまで成長し、生き抜くことができました。私たち一人ひとり置かれている状況は様々ですが、今日という日を一つの区切りとして、新たな一步を踏み出していきたいと思います。これまでずっと傍で支えてくれた家族をはじめ、お世話になった先生方や地域の方々、同じ時間を過ごした友人たちへの感謝の気持ちを忘れず、社会の一員としての自覚と責任を持ち、今後の人生を送っていくことをここにお約束します。

簡単ではございますが、以上で新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

令和3年1月10日

昭和地区新成人代表 野村 舞